



第27回

アートリンクとちぎ 2007  
 企画展「川上澄生—アコガレの軌跡—」  
 川上澄生「初夏の風（ローマ字版）」

川上澄生は栃木県の出身ではない。しかし長年宇都宮にて教鞭をとっていたため、栃木県民には親しみの深い版画家であり愛好家も多い。ここにご紹介したのは、彼の代表作である「初夏の風」（参考図※現在2枚しか確認されていないうちの1枚。後期展示）の前段階に制作されたとみられる作品。風にあおられる女性は「初夏の風」と同一版である。

淡い色彩に彩られた女性の上部にはローマ字で澄生自作の詩が入る。

一われは 風となりたや

あの人の前にはだかり あの人の後ろより吹く  
 初夏の 風となりたや—（表記は筆者による）

風になって、それと知らぬよう、あの女性に触れたい。若き日の澄生の恋は哀しいぐらい一方通行だった。自身の経験によって得た、内に秘め



川上澄生「初夏の風（ローマ字版）」1926年  
 栃木県立美術館所蔵 ©川上さやか



参考図 川上澄生「初夏の風」1926年  
 栃木県立美術館所蔵 ©川上さやか

た焦がれる想いを、澄生はロマンティックなマントをまとうせて表現している。マントの下に見え隠れするのは、エロスやフェティシズム、自虐的なユーモア。澄生にはこうしたスパイスを加えることで、自分の孤独さえ楽しんでいる気配がある。

澄生作品の愛好家は、どこかで孤独を、そして報われない想いの切なさとその陶酔感を知っているひとなのかもしれない。

※本作はアートリンクとちぎ2007 企画展「川上澄生—アコガレの軌跡—」前期（～1月20日（日））に出品されます。年末年始（12月25日～1月2日）は休館いたします。

那珂川町馬頭広重美術館 学芸員 津田卓子

ミニギャラリー  
 作品募集!

あなたの作品をここに展示してみませんか?

絵画、写真、絵手紙などの作品をお待ちしております。

問い合わせ：企画財政課

☎0287-92-1114

灯の中で 森嶋新勝さん（常陸大宮市）



馬頭観光写真コンテスト受賞作品 入選

ミニ  
 ギャラリー



晩秋の詩 島貫高重さん（野田市）